



## 地震の前に、井戸や温泉に異常があるのは本当なの

### 井戸水の水位が上がった

地震の起こる前に、地下の井戸水に異常が見られ、井戸水の水位が高くなった、中国と日本の例をあげてみます。

1975年2月4日、中国の海城地震のときに、ふつう、真冬のときの地下水の、水位が下がっているのに、前の年の12月ごろから、地下水の水位が上がり、地震が近づくとつれて、さらに上がりました。そして、地震の直前には、水があふれた井戸も、たくさんありました。

1994年10月4日、北海道東方沖地震のとき、震源地（地震の起こった所）から、250キロメートルもはなれた、北海道弟子屈町の井戸で、地震の9日前ごろから、水位が5センチメートル上がりました。その後、いったん下がりましたが、10月1日には、再び上がりました。

### 温泉が異常にたくさんふき出た

1923年の、関東大地震（関東大震災）が起こる前の日に、静岡県の熱海で、大湯間欠泉という温泉が、異常にたくさんふき出した、という記録が残っています。

1978年の伊豆大島近海地震や、1995年の兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）が起こる前には、地下水にふくまれている、ラドンというガスのこさが、こくなったという記録があります。

井戸水や温泉に異常があっても、いつも地震が、起こるとはかぎらないので、地震の予知に、役に立つかどうかわかりません。（監修・国司 真）

